

令和3年12月16日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和3年10月～12月期実績、令和4年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 令和3年12月3日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
141企業 (回答率94%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	3	10	8	8	8	4	3	24
建設業	26	2	1	3	3	13	12	5	5	3	3	24
小売業	33	9	9	2	2	11	11	9	9	2	2	33
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	7	5	5	7	5	0	0	0	0	17
サービス業	22	2	2	2	2	12	11	3	3	3	3	21
合計	150	30	28	17	17	59	53	31	31	13	12	141

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感  
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと  
⑨DXの取組 ⑩DXの取組で力を入れていること、取り組みたいこと

【令和3年7～9月期実績】

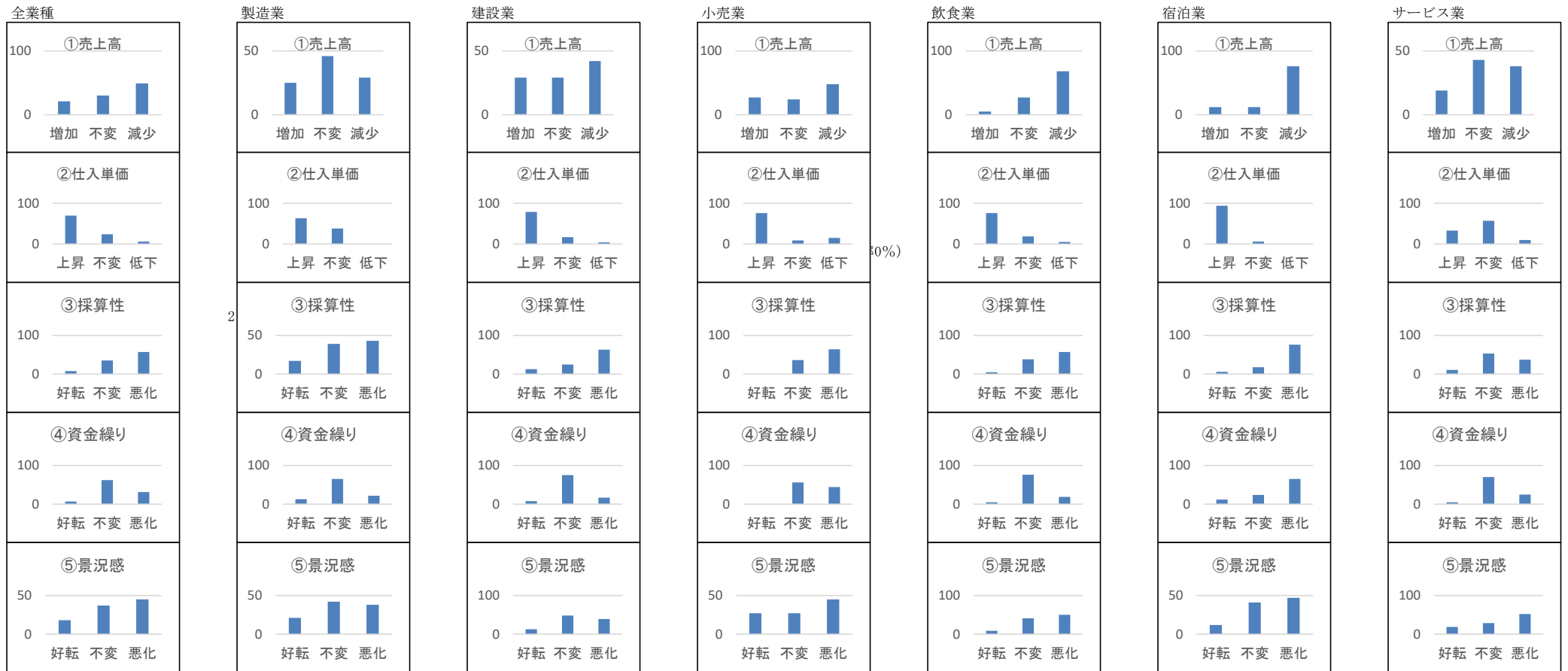
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲43→)▲10(前期差33ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別売上高DIは、全業種が上昇。製造業はプラス幅の拡大、建設業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業はマイナス幅の縮小。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期26→)64(前期差38ポイント増)となりプラス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービスが上昇し、建設業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲51→)▲42(前期差9ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業。サービス業が上昇し、宿泊業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲36→)▲21となり(前期差15ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別資金繰りDIは、全業種が上昇した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲55→)▲14(前期差41ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、全業種が上昇した。

【令和3年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲21となり11ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、60となり4ポイントプラス幅が縮小する見通し。
	業種別仕入単価DIは、サービス業が上昇し、小売業が横ばい、製造業、建設業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲45となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、飲食業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲28となり7ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の資金繰りDIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲24となり10ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の景況感DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和2年10月～12月）と比べた今期（令和3年10月～12月）の状況



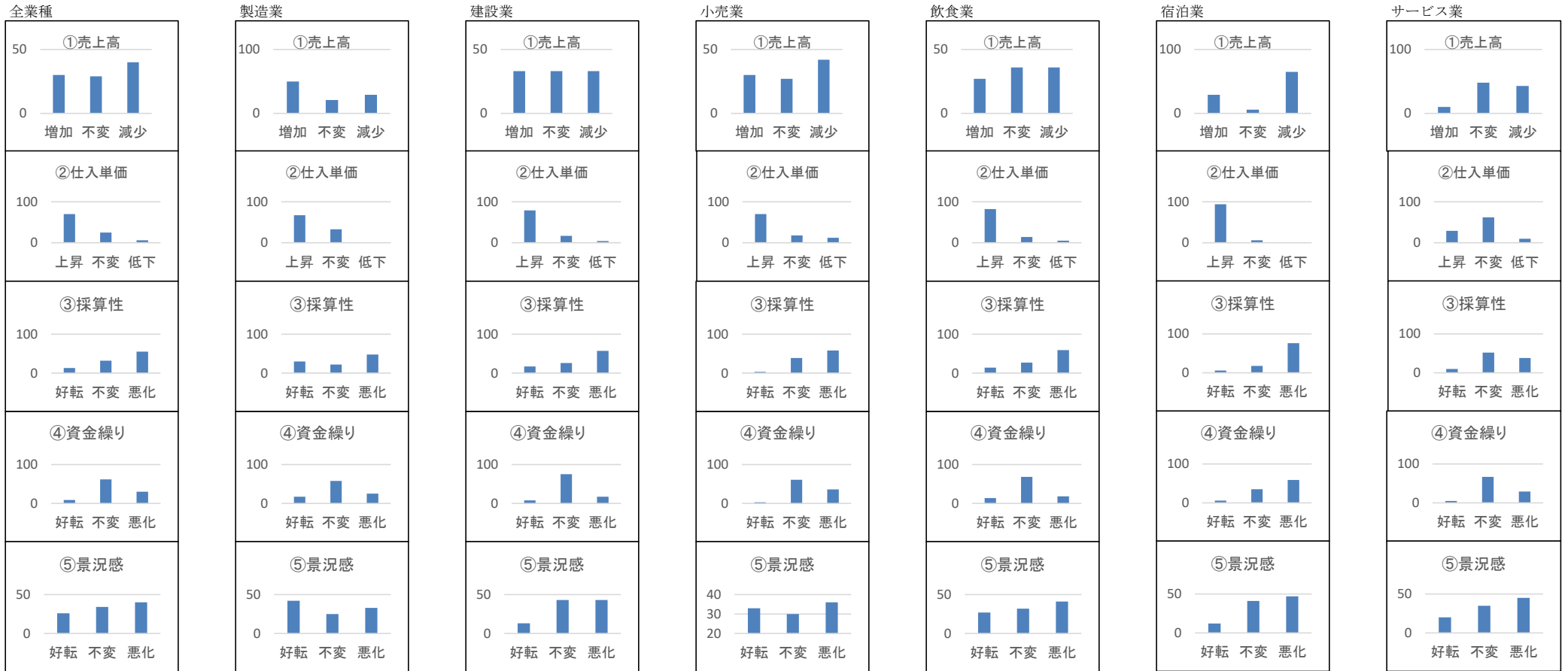
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 28	▲ 4	▲ 13	▲ 21	▲ 63	▲ 64	▲ 19
仕入単価	64	63	75	61	71	94	23
採算性	▲ 49	▲ 26	▲ 50	▲ 64	▲ 52	▲ 70	▲ 26
資金繰り	▲ 24	▲ 9	▲ 9	▲ 44	▲ 14	▲ 53	▲ 20
景況感	▲ 27	▲ 17	▲ 26	▲ 18	▲ 41	▲ 35	▲ 33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和3年7月～9月）と比べた今期（令和3年10月～12月）の状況



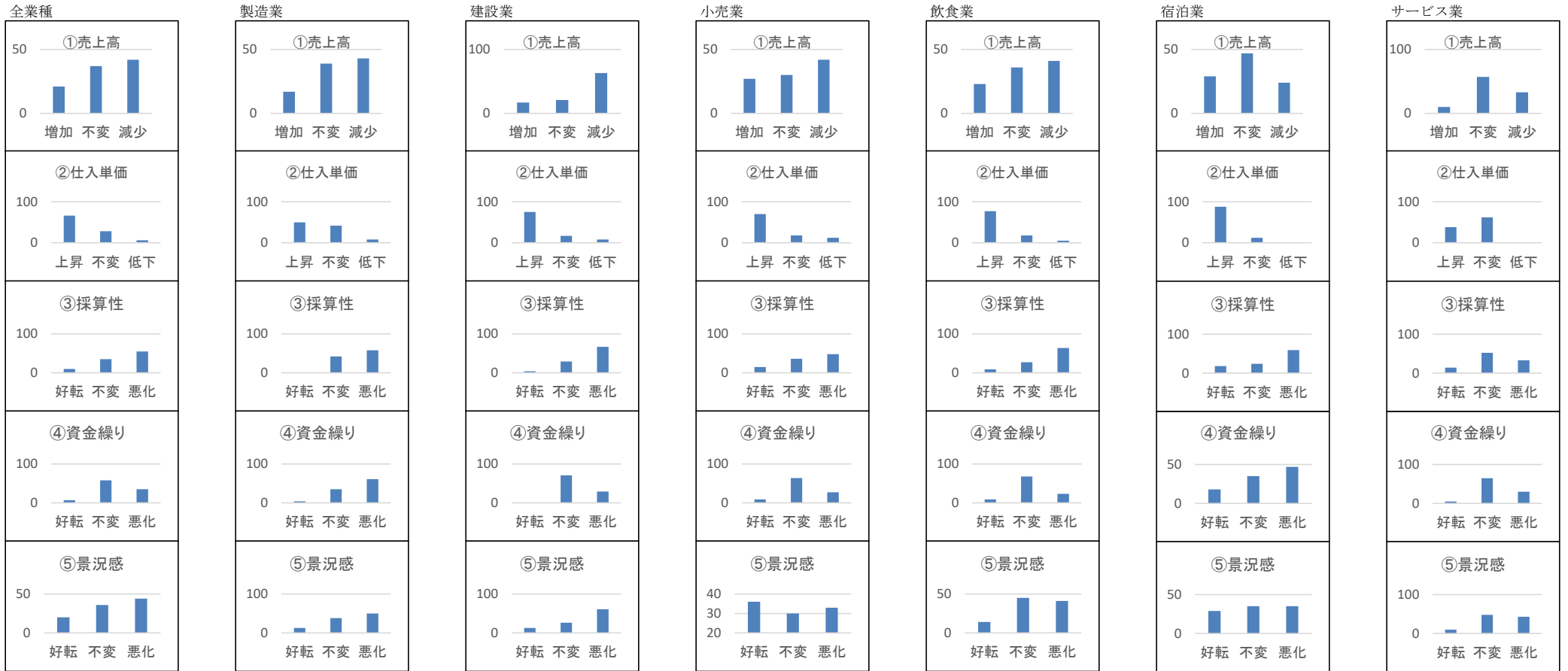
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 10	21	0	▲ 12	▲ 9	▲ 36	▲ 33
仕入単価	64	67	75	58	77	94	19
採算性	▲ 42	▲ 18	▲ 40	▲ 55	▲ 45	▲ 70	▲ 28
資金繰り	▲ 21	▲ 8	▲ 9	▲ 33	▲ 4	▲ 53	▲ 24
景況感	▲ 14	9	▲ 30	▲ 3	▲ 14	▲ 35	▲ 25

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和3年10月～12月）と比べた来期（令和4年1月～3月）の見通し

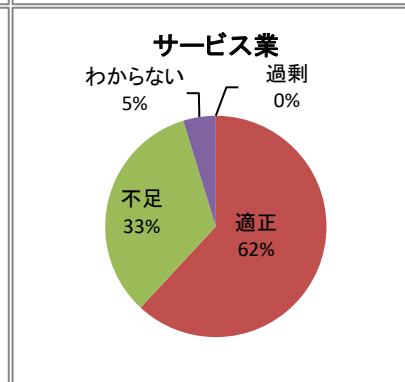
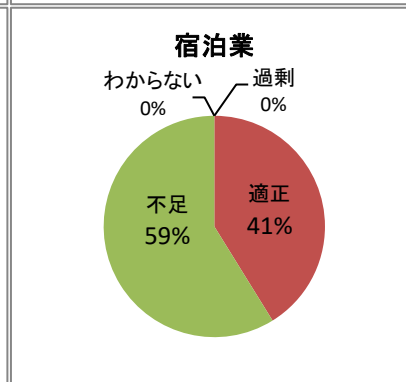
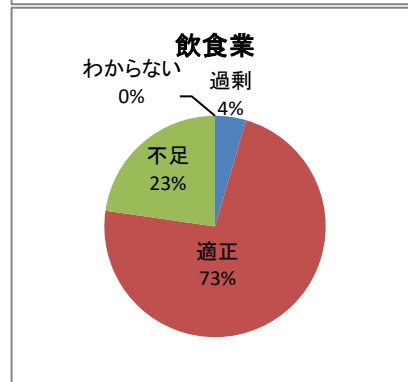
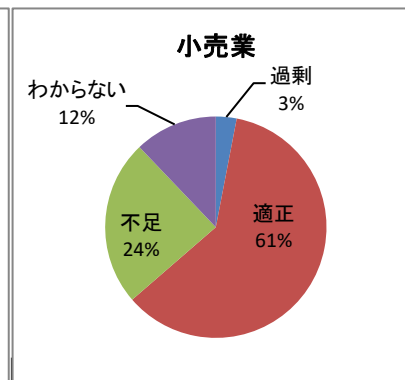
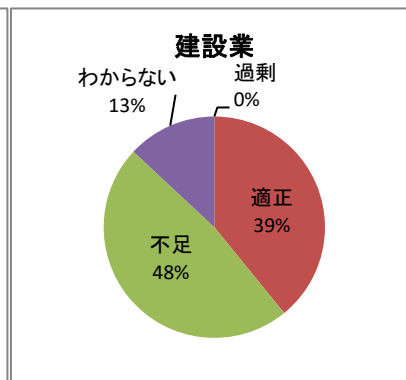
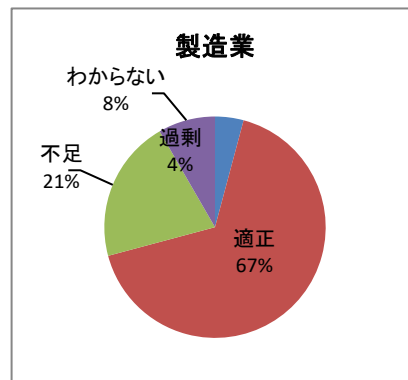
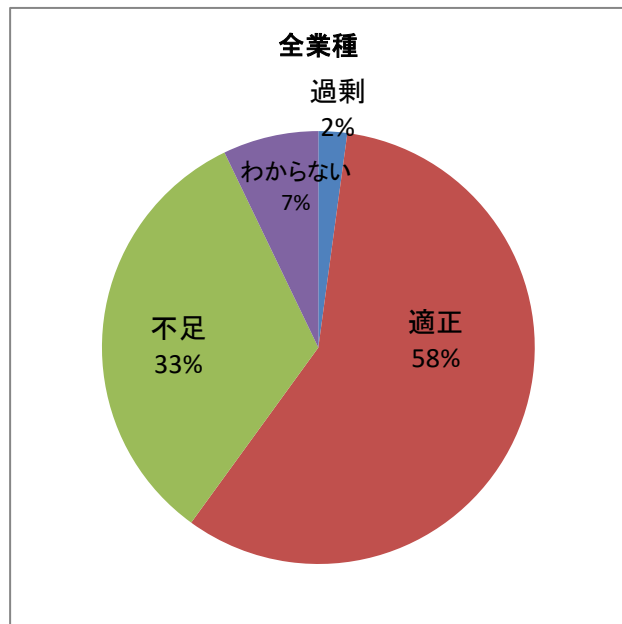


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 21	▲ 26	▲ 46	▲ 15	▲ 18	5	▲ 23
仕入単価	60	42	67	58	72	88	38
採算性	▲ 45	▲ 58	▲ 63	▲ 33	▲ 55	▲ 41	▲ 19
資金繰り	▲ 28	▲ 57	▲ 29	▲ 18	▲ 14	▲ 29	▲ 25
景況感	▲ 24	▲ 37	▲ 48	3	▲ 27	▲ 6	▲ 33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R3.10～12）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	3	2.1%	1	4.2%	0	0.0%	1	3.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
適正	81	57.9%	16	66.7%	9	39.1%	20	60.6%	16	72.7%	7	41.2%	13	61.9%
不足	46	32.9%	5	20.8%	11	47.8%	8	24.2%	5	22.7%	10	58.8%	7	33.3%
わからない	10	7.1%	2	8.3%	3	13.0%	4	12.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%
合計	140		24		23		33		22		17		21	

対前期比（R3.7～9）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	5.4%	-3.3	14.3%	-10.1	0.0%	0.0	6.7%	-3.7	5.3%	-0.8	6.3%	-6.3	0.0%	0.0
適正	64.6%	-6.7	61.9%	4.8	52.2%	-13.1	73.3%	-12.7	84.2%	-11.5	43.8%	-2.6	68.4%	-6.5
不足	20.8%	12.1	19.0%	1.8	34.8%	13.0	13.3%	10.9	10.5%	12.2	25.0%	33.8	21.1%	12.2
わからない	9.2%	-2.1	4.8%	3.5	13.0%	0.0	6.7%	5.4	0.0%	0.0	25.0%	-25.0	10.5%	-5.7

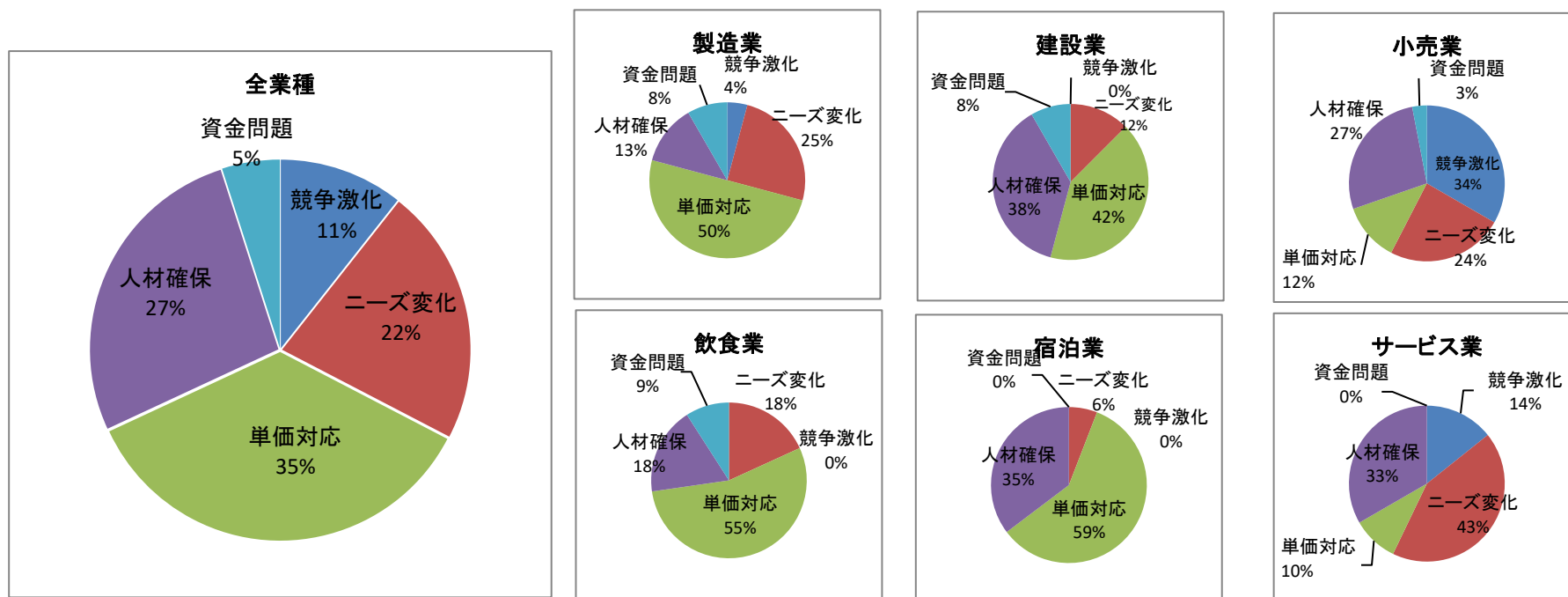
【実績】

- ・従業員の数「過剰」と認識している経営者は、「製造業」、「小売業」、「飲食業」であったが、いずれも5%未満。また、前期比較では「建設業」「サービス業」がポイントの増減がなく、「製造業」、「宿泊業」、「小売業」の順でポイント減少幅が大きい。
- ・従業員の数「適正」と認識している経営者は、「飲食業」、「製造業」、「サービス業」の順が多い。また、前期比較では「製造業」のみがポイント増加幅し、「建設業」、「小売業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。
- ・従業員の数「不足」と認識している経営者は、「宿泊業」、「建設業」、「サービス業」の順が多い。また、前期比較では「宿泊業」、「建設業」、「飲食業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きい。

【前期比較】

- ・従業員過不足（「過剰」-「不足」）は、製造業▲11.9、建設業▲13.0、小売業▲14.6、飲食業▲13.0、宿泊業▲40.1、サービス業▲12.2であった。

【5】直面している経営上の問題点について



今期（R3.10～12）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	15	10.6%	1	4.2%	0	0.0%	11	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	14.3%	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	31	22.0%	6	25.0%	3	12.5%	8	24.2%	4	18.2%	1	5.9%	9	42.9%	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	50	35.5%	12	50.0%	10	41.7%	4	12.1%	12	54.5%	10	58.8%	2	9.5%	単価対応
必要な人材の雇用確保	38	27.0%	3	12.5%	9	37.5%	9	27.3%	4	18.2%	6	35.3%	7	33.3%	人材確保
事業資金の借入難	7	5.0%	2	8.3%	2	8.3%	1	3.0%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	資金問題
合計	141		24		24		33		22		17		21		



対前期比（R3.7～9）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	10.9%	-0.3	5.0%	-0.8	4.3%	-4.3	30.0%	3.3	0.0%	0.0	0.0%	0.0	15.8%	-1.5	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	38.8%	-16.8	35.0%	-10.0	13.0%	-0.5	46.7%	-22.5	36.8%	-18.6	37.5%	-31.6	63.2%	-20.3	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	17.8%	17.7	20.0%	30.0	39.1%	2.6	3.3%	8.8	31.6%	22.9	18.8%	40.0	0.0%	9.5	単価対応
必要な人材の雇用確保	25.6%	1.4	30.0%	-17.5	39.1%	-1.6	16.7%	10.6	21.1%	-2.9	31.3%	4.0	21.1%	12.2	人材確保
事業資金の借入難	7.0%	-2.0	10.0%	-1.7	4.3%	4.0	3.3%	-0.3	10.5%	-1.4	12.5%	-12.5	0.0%	0.0	資金問題

「大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化」に直面している経営者の割合は、「小売業」が最も高く、「サービス業」、「製造業」が順で続く。また前期比較では「小売業」のみポイント増加し、「建設業」、「サービス業」、「製造業」の順でポイント減少幅が大きい。

「消費者（製品）ニーズ変化への対応」に直面している経営者の割合は、「サービス業」が特に高く、「製造業」、「小売業」、「飲食業」が順に続く。また前期比較では、全業種で減少しており、特に「宿泊業」、「小売業」、「サービス業」のポイント減少幅は大きい。

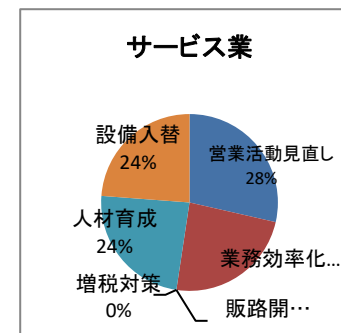
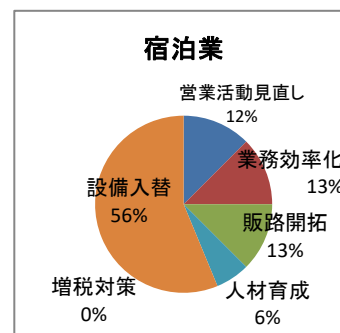
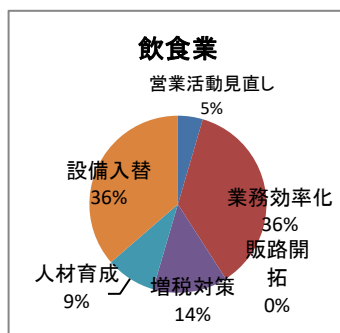
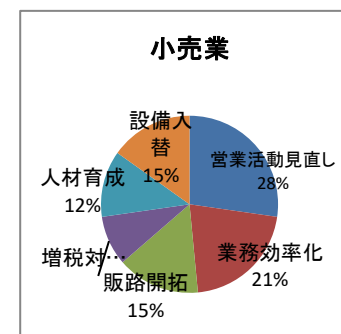
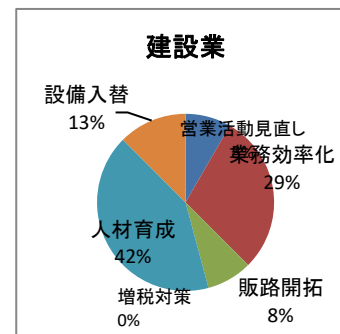
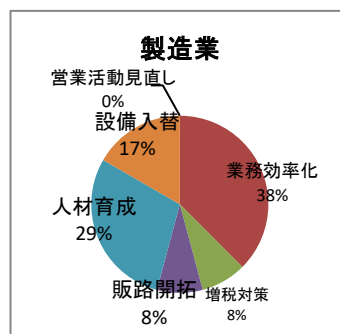
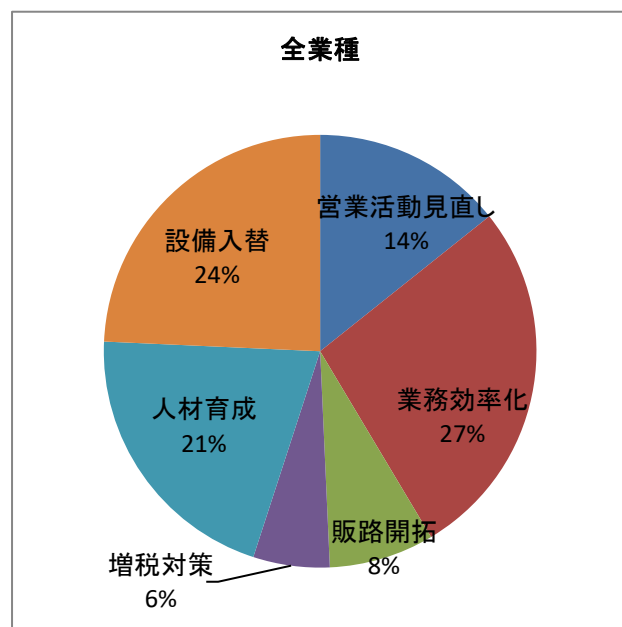
「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」に直面している経営者の割合は、「宿泊業」、「飲食業」、「製造業」、「建設業」が特に高い。また前期比較では、全業種でポイント増加している。

「必要な人材の雇用確保」に直面している経営者の割合は、「建設業」が最も高く、「宿泊業」、「サービス業」が順で続く。また前期比較では、「サービス業」、「小売業」が2桁ポイント増加しているが、「製造業」は2桁ポイント減少している。

「事業資金の借入難」に直面している経営者の割合は、「飲食業」、「製造業」、「建設業」の順で高い。また前期比較では、「建設業」のみがポイント増加し、「サービス業」は横ばい、その他の業種はポイント減少している。

○原油価格の高騰、原材料価格の高騰、人件費の高騰等の影響から「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が全体の1位（約35.5%）で

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R3.10~12)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	20	14.3%	0	0.0%	2	8.3%	9	27.3%	1	4.5%	2	12.5%	6	28.6%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	38	27.1%	9	37.5%	7	29.2%	7	21.2%	8	36.4%	2	12.5%	5	23.8%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	11	7.9%	2	8.3%	2	8.3%	5	15.2%	0	0.0%	2	12.5%	0	0.0%	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	8	5.7%	2	8.3%	0	0.0%	3	9.1%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	増税対策
人材育成、社員教育	29	20.7%	7	29.2%	10	41.7%	4	12.1%	2	9.1%	1	6.3%	5	23.8%	人材育成
設備の入替・更新	34	24.3%	4	16.7%	3	12.5%	5	15.2%	8	36.4%	9	56.3%	5	23.8%	設備入替
合計	140		24		24		33		22		16		21		

対前期比（R3.7～9）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	16.2%	-1.9	14.3%	-14.3	21.7%	-13.4	13.3%	14.0	10.5%	-6.0	25.0%	-12.5	15.8%	12.8	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	15.4%	11.7	0.0%	37.5	17.4%	11.8	16.7%	4.5	21.1%	15.3	12.5%	0.0	26.3%	-2.5	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	19.2%	-11.3	28.6%	-20.3	8.7%	-0.4	20.0%	-4.8	10.5%	-10.5	18.8%	-6.3	26.3%	-26.3	販路開拓
消費税増税対策、会計管理の見直し	4.6%	1.1	0.0%	8.3	4.3%	-4.3	6.7%	2.4	10.5%	3.1	0.0%	0.0	5.3%	-5.3	増税対策
人材育成、社員教育	20.8%	-0.1	23.8%	5.4	30.4%	11.3	23.3%	-11.2	15.8%	-6.7	18.8%	-12.5	10.5%	13.3	人材育成
設備の入替・更新	23.8%	0.5	33.3%	-16.6	17.4%	-4.9	20.0%	-4.8	31.6%	4.8	25.0%	31.3	15.8%	8.0	設備入替

「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」を検討している経営者の割合は、「サービス業」、「小売業」で高い。また前期比較では、「小売業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きく、「製造業」、「建設業」、「宿泊業」で2桁ポイント減少している。

「業務の効率化、仕事の見える化」を検討している経営者の割合は、「製造業」、「飲食業」で高い。また前期比較では、「製造業」、「飲食業」、「建設業」で2桁ポイント増加しているが、「サービス業」はポイント減少している。

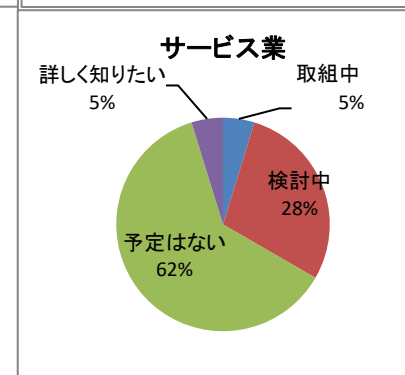
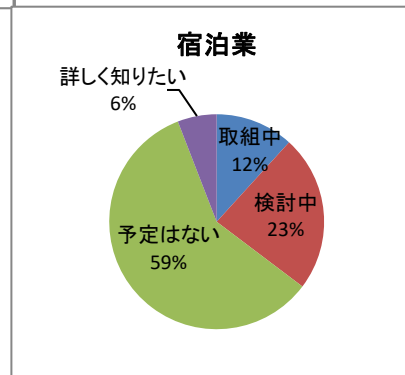
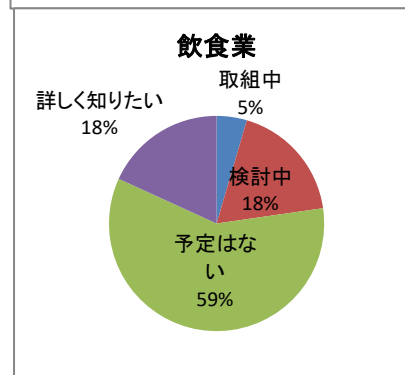
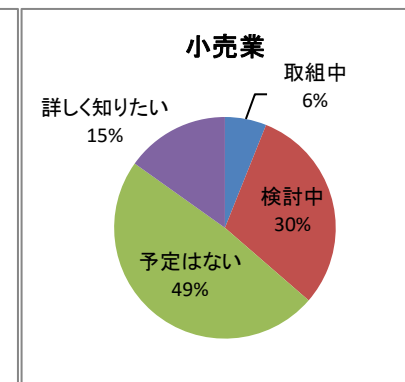
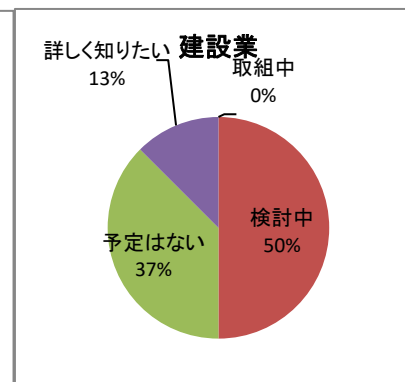
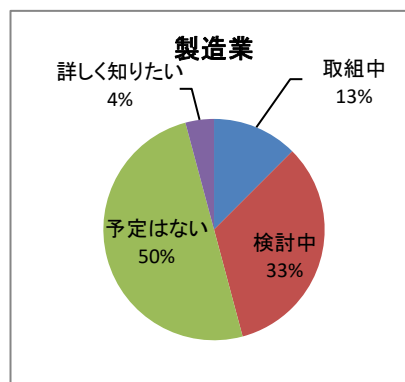
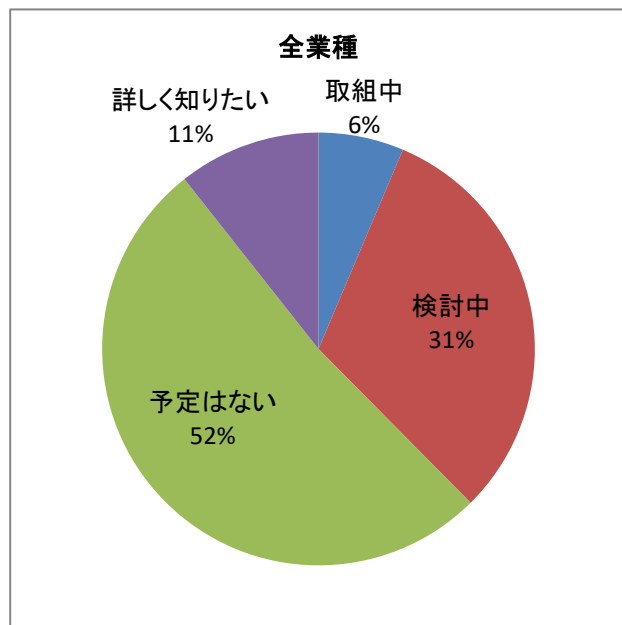
「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」を検討している経営者の割合は、「小売業」、「宿泊業」の順で高い。また前期比較では、ポイント増加している業種はなく、「サービス業」、「製造業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

「消費税増税対策、会計管理の見直し」を検討している経営者の割合は、「飲食業」、「小売業」の順で高い。また前期比較では、「製造業」、「飲食業」、「小売業」の順でポイント増加幅が大きく、「サービス業」、「建設業」の順でポイント減少幅が大きい。

「人材育成、社員教育」を検討している経営者の割合は、「建設業」、「製造業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「サービス業」、「建設業」の順でポイント増加幅が大きく、「宿泊業」、「小売業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

「設備の入替・更新」を検討している経営者の割合は、「宿泊業」、「飲食業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「宿泊業」がポイント増加幅が特に大きく、「製造業」がポイント減少幅が特に大きい。

【7】DXの取組を実施していますか？



今期 (R3.10~12)

⑨DXの取組を実施していますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
取り組んでいる	9	6.4%	3	12.5%	0	0.0%	2	6.1%	1	4.5%	2	11.8%	1	4.8%
取組を検討中	44	31.2%	8	33.3%	12	50.0%	10	30.3%	4	18.2%	4	23.5%	6	28.6%
取組予定はない	73	51.8%	12	50.0%	9	37.5%	16	48.5%	13	59.1%	10	58.8%	13	61.9%
DXについて詳しく知りたい	15	10.6%	1	4.2%	3	12.5%	5	15.2%	4	18.2%	1	5.9%	1	4.8%
合計	141		24		24		33		22		17		21	

取組中  
検討中  
予定はない  
詳しく知りたい

対前期比（R3.7～9）

⑨DXの取組を実施していますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
取り組んでいる	5.4%	1.0	4.8%	7.7	4.3%	-4.3	0.0%	6.1	0.0%	4.5	18.8%	-7.0	10.5%	-5.7	営業活動見直し
取組を検討中	25.4%	5.8	28.6%	4.7	21.7%	28.3	30.0%	0.3	21.1%	-2.9	25.0%	-1.5	26.3%	2.3	業務効率化
取組予定はない	50.8%	1.0	42.9%	7.1	43.5%	-6.0	50.0%	-1.5	68.4%	-9.3	37.5%	21.3	57.9%	4.0	販路開拓
DXについて詳しく知りたい	18.5%	-7.9	23.8%	-19.6	30.4%	-17.9	20.0%	-4.8	10.5%	7.7	18.8%	-12.9	5.3%	-0.5	増税対策

「取り組んでいる」経営者の割合は、「製造業」、「宿泊業」が10%以上、「建設業」は0%である。

「取組を検討中」である経営者の割合は、「建設業」、「製造業」、「小売業」の順で高い。全体では約31%で2番目に高い。

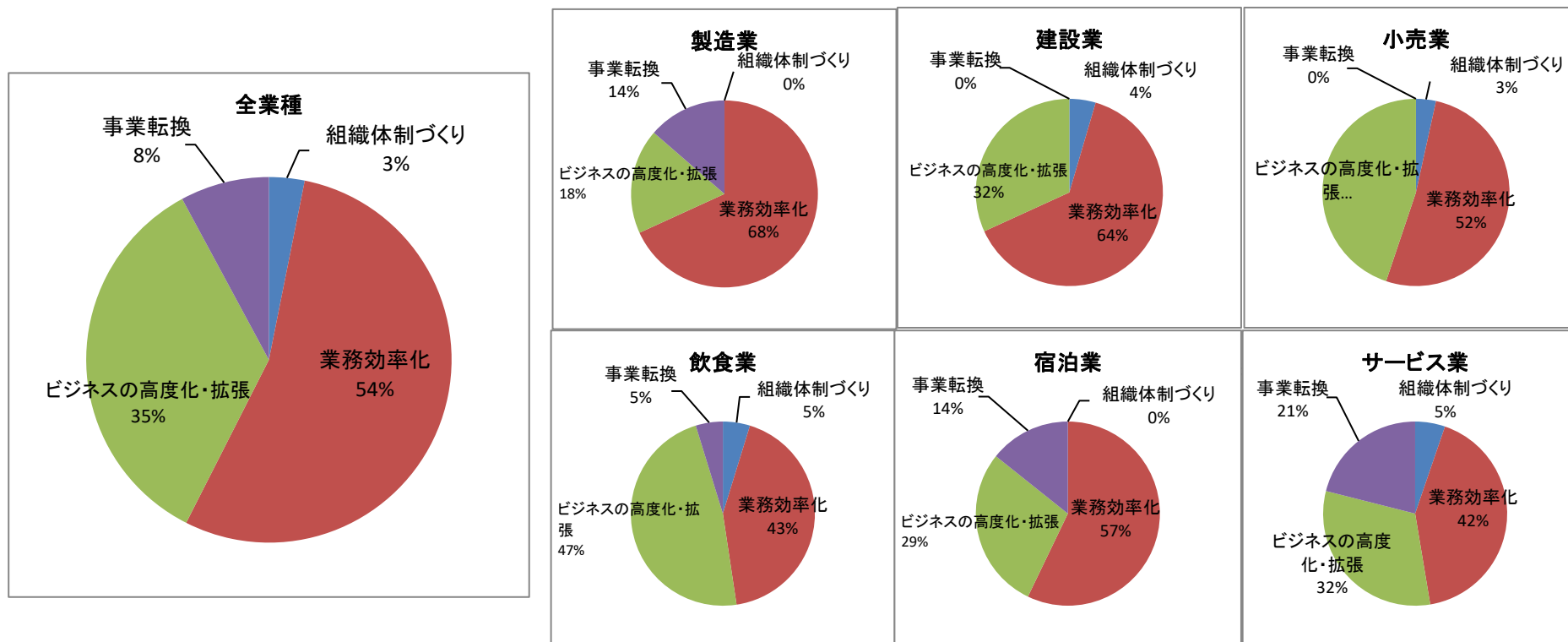
「取り組む予定はない」経営者の割合は、「サービス業」、「飲食業」、「宿泊業」の順で高い。全体では約52%で最も高い。

「DXについて詳しく知りたい」経営者の割合は、「飲食業」、「小売業」、「建設業」の順で高い。

○DXに関して「取組予定はない」と答えた経営者が51.8%（前期比1.0ポイント増）であった一方で、「取り組んでいる」、「取組を検討中」と答えた経営者はそれぞれ6.4%（前期比1.0ポイント増）、25.4%（前期比5.8ポイント増）と増加傾向にある。

デジタル化に向け、業種や事業規模によっても、様々な課題はある。主だったものとして、「アナログな文化・価値観の定着」や「組織のITリテラシー不足」、「長年の取引慣行」、「明確な目的・目標が定まっていない」、「資金不足」、「組織体制」の課題が挙げられる。

【8】DXの取組内容で力を入れていること、取り組みたいことは何ですか？



今期 (R3.10~12)

DX推進のための組織体制づくり	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		組織体制づくり
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
DX推進のための組織体制づくり	4	3.1%	0	0.0%	1	4.5%	1	3.4%	1	4.8%	0	0.0%	1	5.3%	組織体制づくり
業務内容のデジタル化による業務効率化	69	54.3%	15	68.2%	14	63.6%	15	51.7%	9	42.9%	8	57.1%	8	42.1%	業務効率化
デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張	44	34.6%	4	18.2%	7	31.8%	13	44.8%	10	47.6%	4	28.6%	6	31.6%	ビジネスの高度化・拡張
デジタル化による事業転換	10	7.9%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	2	14.3%	4	21.1%	事業転換
合計	127		22		22		29		21		14		19		

対前期比（R3.7～9）

10DXの取組内容で力を入れていること、取り組みたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
DX推進のための組織体制づくり	5.9%	-2.8	10.0%	-10.0	5.0%	-0.5	0.0%	3.4	5.9%	-1.1	0.0%	0.0	16.7%	-11.4	営業活動見直し
業務内容のデジタル化による業務効率化	59.7%	-5.4	60.0%	8.2	75.0%	-11.4	44.4%	7.3	64.7%	-21.8	73.3%	-16.2	50.0%	-7.9	業務効率化
デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張	25.2%	9.4	10.0%	8.2	20.0%	11.8	37.0%	7.8	23.5%	24.1	20.0%	8.6	33.3%	-1.7	販路開拓
デジタル化による事業転換	9.2%	-1.3	20.0%	-6.4	0.0%	0.0	18.5%	-18.5	5.9%	-1.1	6.7%	7.6	0.0%	21.1	増税対策

「DX推進のための組織体制づくり」を重点にしている経営者の割合は、「サービス業」、「飲食業」が上位。全体では約3%と低い項目。

「業務内容のデジタル化による業務効率化」を重点にしている経営者の割合は、「製造業」、「建設業」、「宿泊業」の順で高く、全体では約54%と最も高い項目。

「デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張」を重点にしている経営者の割合は、「飲食業」、「小売業」、「建設業」の順で高く、全体でも約34%と2番目に高く、前期比で約9ポイント増加している項目。

「デジタル化による事業転換」を重点にしている経営者の割合は、「サービス業」、「宿泊業」、「製造業」が上位。

○DXの取組において、全業種で「業務の効率化」が最重要であり、「デジタルを活用した既存ビジネスの高度化や拡張」にも注力していくという結果となった。

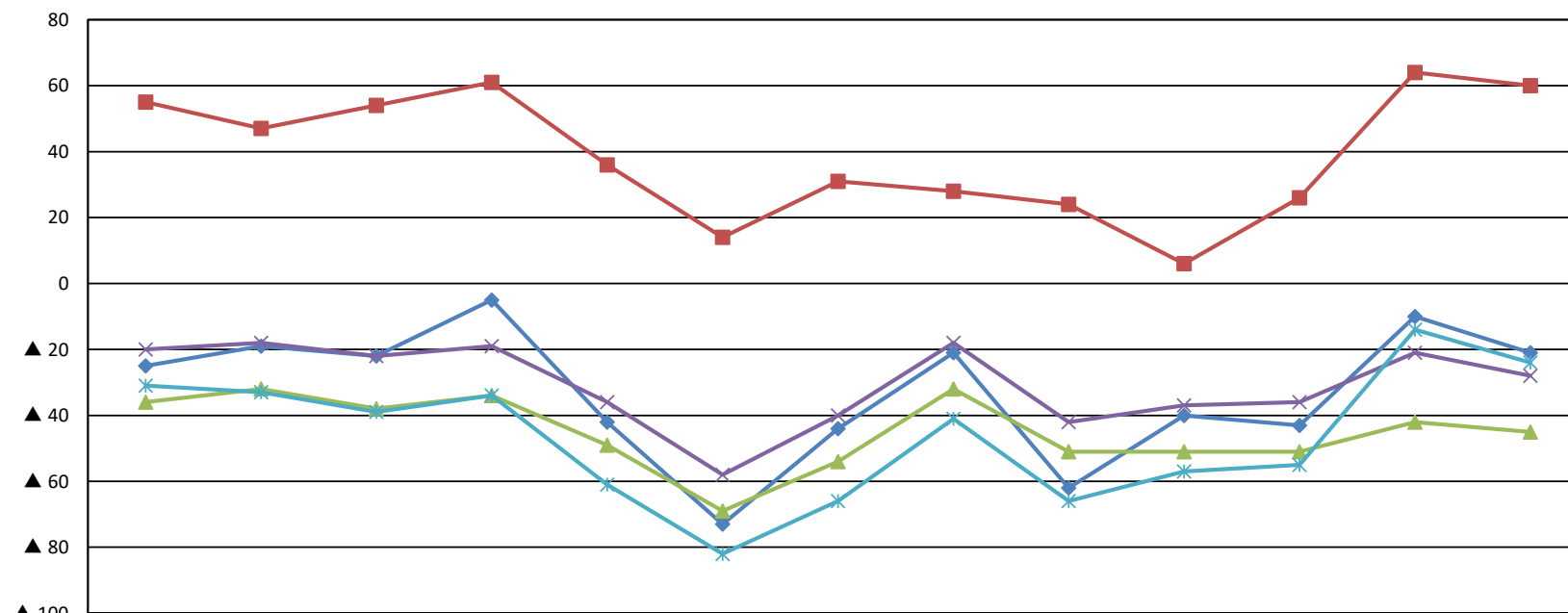
## 【9】自由コメント

1	石油産業に対する社会の風評被害が大きすぎる。国や自治体は脱炭素社会の構築を急いでいるが、既存の産業が今までどれだけ社会の発展に貢献してきたか分かっていない。共存共栄という選択肢はないのか。真剣に検討して頂きたい。（日高・製造業）
2	新型コロナウイルスによってビジネス機会が減少した業界はこの後も元には戻ることはおそらくない。それに原油高があいまってすべてにおいてマイナスの様相を呈している。しかし巣ごもりなどいまだに需要もあるのでそこにいかにビジネスチャンスを作るかにかかっているように思う。（日高・小売業）
3	コロナが2年続き、各行動規制の影響など今後表面化するであろうから、入札、民間営業等これまで以上に注意し、創意工夫を重ね、今後長きに渡る顧客確保に務める。（日高・建設業）
4	近年、コロナウイルスにより、凄く経営自体に影響を受けた。今後は以前のように普通に営業・生活できることが何よりの望みです。（城崎・飲食業）
5	飲食店の休業補償の分の増額により、税金の対策が今後懸念材料となる。（出石・飲食業）
6	DXが何なのかわからないので、教えてください。（但東・製造業）
7	どのような施策を行うにしても人材の確保が不可欠であるが、現状、地域内に人材が居ない。（日高・サービス業）
8	スタッフの高齢化とアルバイト募集かけても応募が少なく、人材育成が困難。（日高・サービス業）



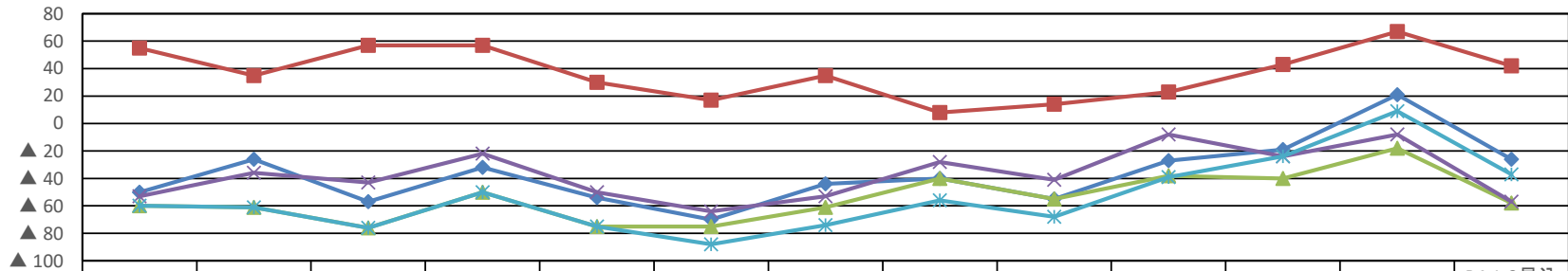
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



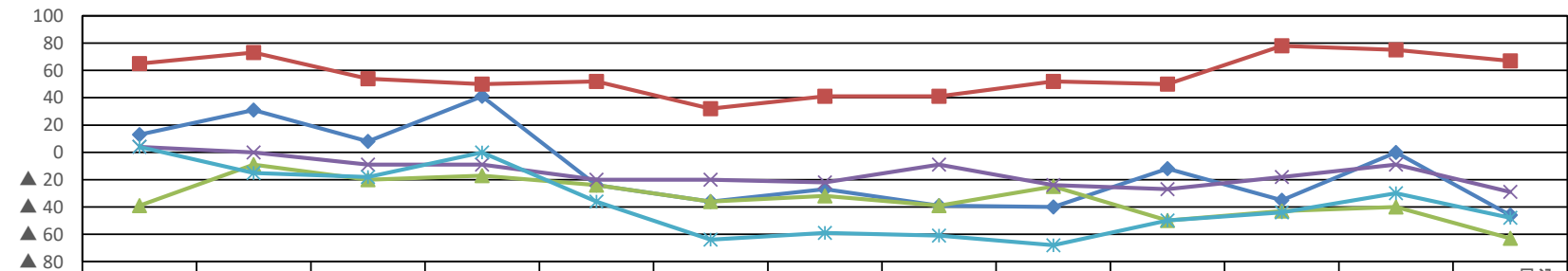
	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 25	▲ 19	▲ 22	▲ 5	▲ 42	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 21
■ 仕入単価	55	47	54	61	36	14	31	28	24	6	26	64	60
▲ 採算性	▲ 36	▲ 32	▲ 38	▲ 34	▲ 49	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 45
× 資金繰り	▲ 20	▲ 18	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 28
* 景況感	▲ 31	▲ 33	▲ 39	▲ 34	▲ 61	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 24

### 製造業DI推移



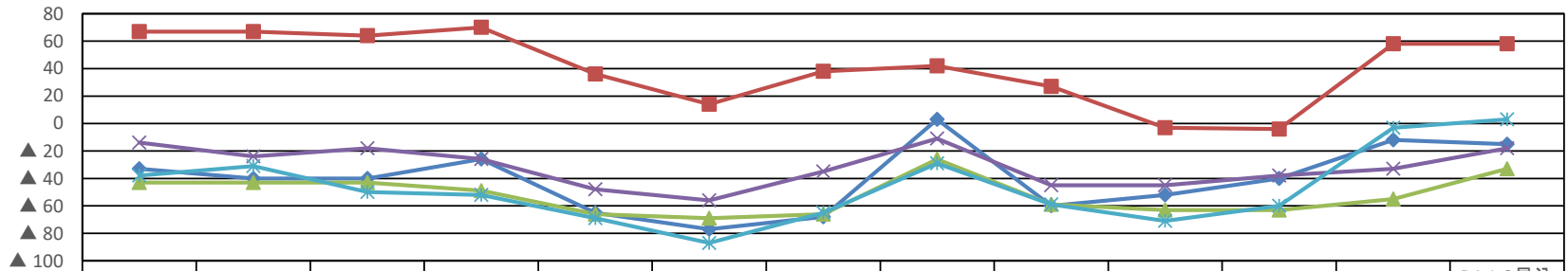
	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 50	▲ 26	▲ 57	▲ 32	▲ 54	-70	-44	▲ 40	▲ 55	▲ 27	▲ 19	21	▲ 26
■ 仕入単価	55	35	57	57	30	17	35	8	14	23	43	67	42
▲ 採算性	▲ 60	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 58
× 資金繰り	▲ 53	▲ 36	▲ 43	▲ 22	▲ 50	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 57
✧ 景況感	▲ 60	▲ 61	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 37

### 建設業DI推移



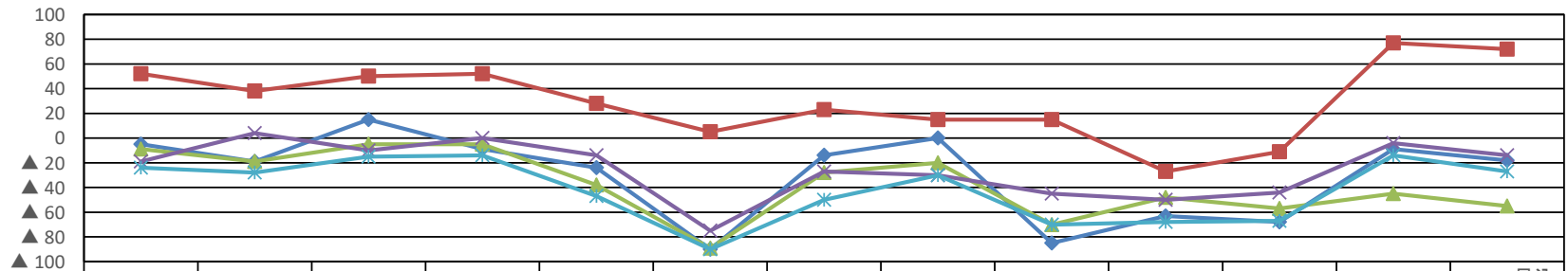
	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	13	31	8	41	▲ 24	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 46
■ 仕入単価	65	73	54	50	52	32	41	41	52	50	78	75	67
▲ 採算性	▲ 39	▲ 9	▲ 20	▲ 17	▲ 24	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 63
× 資金繰り	4	0	▲ 9	▲ 9	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 29
✧ 景況感	4	▲ 15	▲ 18	0	▲ 36	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 48

### 小売業DI推移



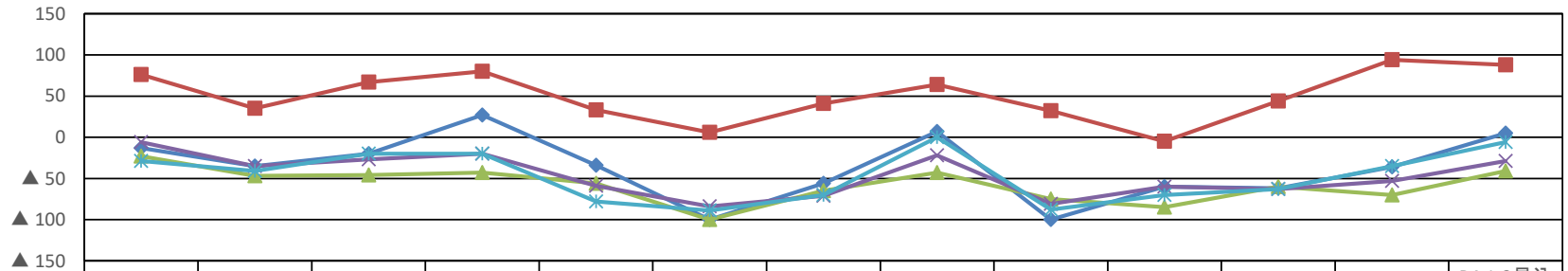
	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 33	▲ 40	▲ 40	▲ 26	▲ 65	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 15
■ 仕入単価	67	67	64	70	36	14	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	58
▲ 採算性	▲ 43	▲ 43	▲ 43	▲ 49	▲ 66	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 33
× 資金繰り	▲ 14	▲ 24	▲ 18	▲ 26	▲ 48	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 18
✧ 景況感	▲ 38	▲ 31	▲ 50	▲ 52	▲ 69	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	3

### 飲食業DI推移



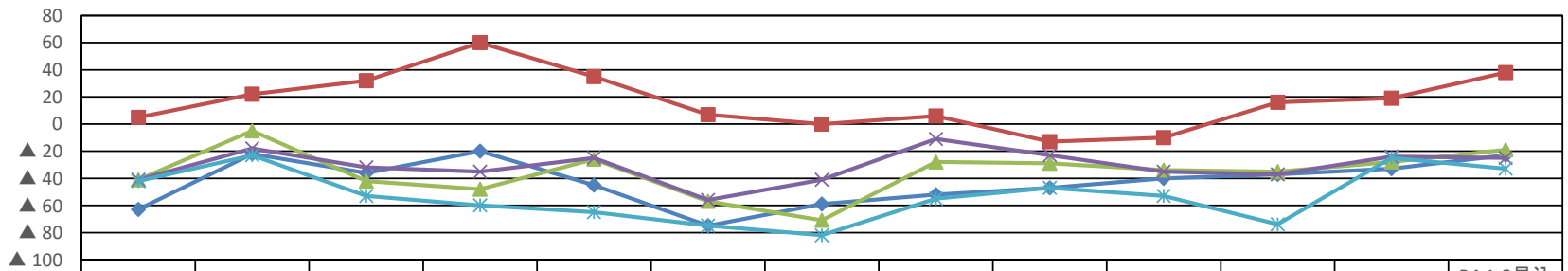
	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 5	▲ 19	15	▲ 9	▲ 24	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 18
■ 仕入単価	52	38	50	52	28	5	23	15	15	▲ 27	▲ 11	77	72
▲ 採算性	▲ 9	▲ 19	▲ 5	▲ 5	▲ 38	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 55
× 資金繰り	▲ 19	4	▲ 10	0	▲ 14	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 14
✧ 景況感	▲ 24	▲ 28	▲ 15	▲ 14	▲ 47	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 27

### 宿泊業DI推移



	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 13	▲ 35	▲ 20	27	▲ 34	▲ 100	▲ 56	7	▲ 100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	5
■ 仕入単価	76	35	67	80	33	6	41	64	32	▲ 5	44	94	88
▲ 採算性	▲ 23	▲ 47	▲ 46	▲ 43	▲ 56	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 41
× 資金繰り	▲ 6	▲ 35	▲ 27	▲ 20	▲ 59	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29
✧ 景況感	▲ 29	▲ 41	▲ 20	▲ 20	▲ 78	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 6

### サービス業DI推移



	H31.1-3	R1.4-6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3見込み
● 売上高	▲ 63	▲ 22	▲ 36	▲ 20	▲ 45	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 23
■ 仕入単価	5	22	32	60	35	7	0	6	▲ 13	▲ 10	16	19	38
▲ 採算性	▲ 41	▲ 5	▲ 42	▲ 48	▲ 26	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 19
× 資金繰り	▲ 41	▲ 18	▲ 32	▲ 35	▲ 25	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 25
✧ 景況感	▲ 42	▲ 23	▲ 53	▲ 60	▲ 65	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 33